

INTERVIEW

全商英語スピーチコンテスト全国大会に出場

在校生商業科2年 下村 真衣さん



英語も得意だったんですか？

全然。むしろ苦手な方ですよ。英語を勉強するきっかけにしたと思って出させてもらいました。

その結果が最優秀賞なんですよ。

本当に記念出場のつもりだったんです。もう自分自身がびっくりしました。

いろいろ努力されたんですね。特にどんなことがたいへんでしたか？

英語とはいっても、何を話すかが大事なことは、日本語と同じです。日本語での文章を作り上げていくのがたいへんでした。あとは発音でしょうか。「～ar」の部分の発音なんかは何度も指導していただきました。

全国大会の雰囲気はどうでしたか？

すごい大会なんだとは思いますが、ほかの人のスピーチがさっぱりわからなくて。そのうち、ついウトウトと……。

睡魔が襲ってきた？

はい(笑)。前の日に泊まったホテルが、電車の音が夜になってもうるさくて、よく眠れなかったせいもあったのかな……と。でも、今後はリスニングの力をつけることを目標にまた頑張りたいと思っています。

IVENT

文化の香りを地域に発信

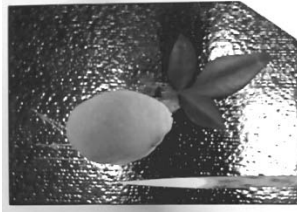
11・21～22 新高展開催

名称が高周波文化ホールと改称されてから、初めて恒例の新高展が開催された。当初は雨風が予測され、準備に手間取ることが予想されたが、両日とも、時折薄



日の差す落ち着いた雰囲気の中で、生徒の保護者や近隣住民の方を中心に多くの来場者が会場を訪れた。この新高展は10月30日に校内で催された文化部発表会を校外に向けて企画したものだ。

写真の茶道部では、高女時代の卒業生が寄贈した風炉先屏風など歴代卒業生によって調えられた道具の数々



が展示され、菓子はこちらも石黒松月堂店主石黒誠氏（高20回）のご好意により、亥ノ子餅が特注で作られ、多くの喫客に喜ばれた。

TOPIC

薬師寺高田好胤筆「克己」

北陸中日新聞が掲載

1971年より野球部部訓として室内練習場に

野球部室内練習場には1971年以来、部訓として掲げられている書がある。当時の薬師寺管主故高田好胤師の揮毫によるもので、奈良県郡山高校との交流試合が縁で本校に寄贈されたものである。6月1日、北陸中日新聞はこのことを同紙の「ウチの一押し」に掲載しているの、紹介かたがたの由来を記したい。

1950年、本校（旧高岡東部高校）野球部のとある試合で、本校応援の観客が審判判定に不服を申し立て、暴行事件をおこした。このため野球部は解散、再結成されたのは1971年で、そのときの野球部後援会による最初の事業が郡山高校との交流試合であった。この郡山高校の野球部監督が好胤管主と知遇があり、激励を込めて、本校野球部のために揮毫されたものといわれる。（高3回卒・松賢治氏より北陸中日新聞が取材）

日本全国を東奔西走、精力的に布教したことで知られる名僧高田好胤師。書はおよそ一疊ほどの大きさの和紙に力強い筆致で墨色鮮やかに書かれており、スケールの大きな好胤師の人柄を偲ばせる作品である。野球部関係以外には、この書の内容はあまり知られていないように思われるが、ぜひすべての同窓会員に知ってほしい本校の「宝物」である。



編集後記

同窓会のHPがケータイからご覧いただけるようになりました。詳しくはコチラから



同窓会だより
あゆの風

第23号
富山県立新湊高等学校
同窓会事務局
射水市西新湊21-10
TEL (0766) 84-2328
FAX (0766) 84-2354
E-mail post356@tym.ed.jp
URL http://www.shinminato-h.tym.ed.jp



校舎前庭から五楼会館を望む 今冬は数年ぶりの大雪に

ご挨拶

富山県立新湊高等学校同窓会

副会長

加治秀夫



会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

100年に一度の不況ということで、世界中が一昨年から暗くなった様、又、デフレ経済に突入という報道がなされ、国内ニュースは“政権交代”“事業仕分け”“政治とカネ”と経済に大きな影響を及ぼしているように思います。

日本人の心配症といいますが、BSEの問題のときは牛肉を食べなくなりましたし、毒ギョウザ事件では中国産品離れでしたし、鳥インフルエンザではマスクの生産が需要に追いつかない程売れたとか。先日、海外出張の折、海外空港でマスクをしているのは日本人ばかりでした。隣国韓国ではBSE問題の時でも焼肉を美味しく食べていました。一部の人がインターネットで大統領の失政にしようと、輸入牛肉の問題を取り上げ、デモにまで発展させたそうですが、世間一般ではなんら影響がありませんでした。確かに、日本の良さの食の安全・安心は海外市場での大きな売りになっていますが、数値だけが目先の日本では案外自分たちの首を絞めているようにも感じられます。文化が壊されていくようにも思います。民放のお昼の番組で体に良いと紹介されたものは、即座に飛ぶように売れるらしいですね。

さて、話はかわりますが、インドネシアのジャカルタに泊まった折、現地の日本語新聞の“じゃかるた新聞”というものがありませんでした。丁度、新年会の時期であり、各県人会その他ジャカルタに住む日本人向けの会合の案内が多数紹介されていました。世界中にネットワークを持つ日本人の海外駐在員の呼びかけであります、そのお世話をしようという幹事役の方がいるということが、その県人会や各種会合、集まりを開催できることになると新聞を見て感じました。同窓会やクラス会でも幹事役が積極的かどうかで開催される頻度が違うのでしょうか。本校同窓会につきましても4月29日に毎年総会を開催致しております。母校の発展は後押しする同窓生同窓会の活性にあると信じます。先生方、先輩、同級生、後輩、すべての同窓生が「同じ釜の飯を食った」同志として一丸となって母校を支えていきたいものです。ぜひ、集まって明るく盛り上げてください。

会員の皆様の益々のご発展、ご多幸を心からご祈念を申し上げます。



一年、さまざまな思い

富山県立新湊高等学校 校長

高井一三

今年度この新湊高校に校長として赴任し、はや一年が過ぎようとしています。その間、同窓会員の方々の母校への思いが、学校運営の様々な局面で大きな支えとなっていることを実感し、本校へのご支援に対し改めて感謝申し上げたいと思っています。

さて、今年度を振り返りますと、期待の野球部は夏の大会ベスト8をかけて高岡商業と対戦するも、昨年の雪辱を果たせず惜しくも涙をのみましたが、陸上では女子やり投げで北信越大会優勝、インターハイでも入賞を果たすなど、随所に生徒の活躍がみられました。また、商業科生徒が昨年から取り組んでいる商品開発では、地元の曳山祭を題材に見事な絵皿とセットグラスを商品化し、校内外で好評を博しました。来年度へのさらなる飛躍が期待されるところです。一方で今年度は新型インフルエンザに翻弄された年でもありました。そのため7月に来校予定だったノーブルパーク高校との交流も中止せざるを得なくなりました。国際交流の基金を活用させていただいている大切な行事だけに残念でしたが、現在は来年度以降の交流再開にむけ準備を進めています。

政権交代により公立高校授業料の無償化が実現に動くなど、時代はまさに変革期にあります。次代を拓く逞しい人材の育成にむけ、新たな展望を持った学校づくりが今こそ求められています。その基盤となるのはやはり地域社会の協力であり、学校が培った伝統の力ではないかと思っています。会員諸氏には、本校へのより一層のご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

近況報告

射水市立町 アミヤ写真館

網谷 晋氏 (高17回)

写真館3代・新高3代変わらぬ心を今に伝えて

あみたに すすむ Susumu Amitani

1946(昭和21)年 旧新湊市立町生まれ
1965(昭和40)年 新湊高校普通科を卒業
大学進学を経て家業のアミヤ写真館へ(アミヤは屋号 父・鯉喜雄氏は平成2年没)
1995(平成7)年 新湊高校PTA会長に就任
アミヤ写真館は射水市立町2-14 TEL/FAX 0766(82)2337



放

生津(射水市山王町)の漁師の家に生まれた祖父の長蔵(ちょうぞう)が写真館を開業したのは、大正2(1913)年といえますから、かれこれ百年近くになります。新聞社に勤めて中国の天津に渡ったときにイギリス人から習ったそうで、最初は高岡に店があったようですが、やがてこの新湊にもどり、立町に店を構えました。当時はまだ写真館というものがもの珍しい時代だったようですね。やがて父・鯉喜雄(りきお)が後を継いで私で3代目になります。

父は旧制射水中学校の2回生ですから、まだ開校さ

れて間もない頃の新高を知っている人物の一人ということになります。そして新高との関係も父の時代から始まり、写真屋として、新高の様々な思い出の一コマに立ち会わせてもらいました。何といっても忘れられないのは、あの「新湊旋風」が吹いた昭和55(1980)年の夏の甲子園です。当時、父が同窓会長を務めさせていただいたときには「新湊の街が空になった」といわれるほど多くの市民の方が応援に出かけ、父も「全国の数多くの同窓生の方々から多大なご支援をいただいた」と申しておりました。それと昭和61(1986)年の

「ミラクル新湊」と呼ばれた春のセンバツ。この写真は、早春の小雨の中での初戦、プロ注目の近藤選手を擁した強豪・享栄高校(愛知)との対戦で、1点差での勝利が決まった瞬間の一コマですが、ご承知のとおり、それから快進撃が始まりベスト4までいった大会でした。あのときの熱気は今も心に残っています。

今はデジカメで簡単にいろんなものが撮れるようになりましたが、写真を生業にするものにとって、大切なのは何をどのように伝えるかということです。でも、そ



富山県立新湊高等学校主任技士

釣谷 久和氏 (高20回)

母校に勤務して今年で定年を迎えます。

つりたに ひさかず Hisakazu Tsuritani

1949(昭和24)年 旧新湊市古新町に生まれる
1968(昭和43)年 新湊高校商業科を卒業後民間企業に就職
1978(昭和53)年 富山県職員として採用 新湊高校へ赴任する
その後、有機高校、高岡高校を経て、2006(平成18)年再び新湊高校へ高岡市下牧野在住



ま

あ、一口に言えば、この仕事は学校の「何でも屋」です。ゴミの後始末、草木の剪定、破損箇所への修繕、外へのおつかい。一度、学校の警備員さんが1か月ほど休まれたことがあって、そのときには学校に泊まり込んで校舎内を巡回したこともありました。さすがに一日おきに24時間勤務の状態が続いたときはキツかったですね。

キツいといえば、今年は大雪で早朝からの除雪が連日続いたこともこたえました。でもまだまだ頑張らせてもらってます。丁度私たちから年金の支給開始が65歳になることでもありますし(笑)、慣れた人間が一人でも多くいた方がやはりよろしいですから。

こしばらくの間的人员削減で、私たちの仲間もかなり少なくなりました。おまけに皆、年寄りばかりですから、安全に作業するためにも職場に人間が必要です。偶然にも、母校で今年定年を迎えますが、来年も再雇用の方でこの仕事が続けられることを希望しています。

それでもできればこの学校で。

とにかく身体が資本の仕事ですから、毎日元気に過ごさないといけません。健康の秘訣ですか? 軽く一杯やってしっかり休息をとることでしょか(笑)。



平成21年度 放生あゆの会総会 懇親会

10・17(土)2009 東京・日立金属高輪和彊館

放生あゆの会（同窓会関東支部）の定期総会が10月17日（土）、東京・品川プリンスホテル近くの日立金属高輪和彊館で開催された。今回は本部から八嶋会長も出席され、母校とその周辺の近況がスクリーンで紹介されたほか、特別ゲストとして、落語家立川志の輔氏（高24回）一門から立川志の春氏が招かれ、年に一度の懇親会は大いに盛況となった。

総会	
開会の挨拶	卯尾田雄一
会計報告	桐木明巳 黒田栄昌
提案（下記参照）	卯尾田雄一
懇親会	
開会の挨拶・乾杯	瀧 哲哉
来賓の挨拶	高井一三 八嶋健三 金岡 隆 大野昭臣
落語	立川志の春
校歌斉唱（射中・高女・新高）	
関東一本締め	八嶋健三

今年度の総会は全部で35名となり、例年に比べて参加者は減少した。それについて、挨拶の席上、卯尾田雄一支部長からは「高速料金が安くなり、家族旅行に出かけた人が多くいたようだが、高齢や病気を理由に欠席の返事をいただいた方も多かった。案内状を出しても返信率が低く、会の会計運営を圧迫している。若い世代の人たちに引き継いでいってもらうためにも、忌憚のない意見をHPなどに寄せてほしい。」と異例の提言がなされた。



挨拶に立つ卯尾田支部長



会場の高輪和彊館 閑静な住宅を思わせる雰囲気

やや緊張した面持ちで臨むことになった総会に対して、懇親会は松井三郎幹事により、終始和やかな雰囲気で行われた。立川志の春氏の演目は古典落語の「金明竹」。骨董屋の店番が難解な道具言葉を早口に語るくだりは、なかなかの聴かせどころであるが、よどみのない斬りに会場は拍手喝采。これで会場の雰囲気も一挙に和み、笑いが飛び交うなか、それぞれの宴卓では歓談に花が咲いた。



懇親会の風景 和やかな歓談が交わされる



この日は、ほかにも芸達者な参加者がスピーチを交えながら、大いに会場を賑わせてくれた。地元富山ではお馴染みの漫才コンビ藤沢姉弟の藤沢さなえさんが



名門イェール大学出身 志の輔一門との楽しいやりとりも聴かせてもらった。

修行を兼ねて上京してきており、にこやかな笑顔で挨拶をした後、シャッソン歌手の今井



藤沢さなえさんの楽しいスピーチ



今井杏羽子さん 隣は八嶋会長

今後の関東支部の運営について（提案）

- 1 案 総会は3年に1回とし、年会費制を廃止する。
- 2 案 支部を解散し、運営費残金を本部へ納める。
- 3 案 「放生あゆの会HP」のみを存続させる。

※ ほかによい案があれば忌憚なく寄せてください。（HPなどをご利用ください）

クラス会だより

卒業して2年。成人式を迎えたばかりの私たちは、急にクラス会をしたいと思います。と、晴れて酒も煙草もOKなのだ。そして、早速何人かとメールで連絡を取り合った。と、そこまではよかったのだが、誰もクラス会なんて仕切ったことがない。「誰かが世話してくれるんだろう」と思っていたら、いつの間にか、ほか幹事することに。〇〇

それでも「1か月もあつたら準備はできる！」と気楽に構えていたら、これがぞもぞもの間違いだった。後から気づいたことだが、みんな2か月前くらいまで予定が埋まっていたのだ。3月は中学校の同窓会や大学での送別会など、何かと宴会が多い。クラス会や同窓会をこれから企画する人たちは、早すぎるくらいから準備を始めよう。（じゃないと、イタイ目にあうぜ）

とはいえ、忙しい中を都台して何とか20名近くが集まってくれた。さて、いよいよ当日の夜。何をどうしたかは、正直なところ覚えていない。（たぶん何とかなったのだろう。）いろいろな面倒なこともあったが、幹

59回(2006年度)卒 普通科3組
DATE 3・15(SUN),2009
PLACE 千年の宴 高岡御旅屋通り店

事になったからといって何もビビることはない。まずは気軽に声を掛け合ってみよう。（幹事 久湊和博）



クラス会・同窓会の情報をお寄せください

ちょっとしたクラスメイトの集まりなどでも構いません。日時、場所、およその参加人数、幹事の連絡先などを写真や簡単なコメントなどとともに下記へお送りください。お待ちしております。

〒934-8585 富山県射水市西新湊21-10
富山県立新湊高等学校同窓会事務局
TEL 0766(84)2328 FAX 0766(84)2354

平成21年度 同窓会総会・ゴルフ会・懇親会

4.29(祝)2009 第一イン新湊

世代を超えて63名が出席。ゴルフ大会優勝は京橋氏

毎年「昭和の日」に開催されている総会が、今年も例年のとおり、ゴルフコンペと共催で第一イン新湊を会場に開かれた。折からの深刻な不況の下、今年の参加者は63名と昨年よりやや少なめとなったが、八嶋会長は「100年に一度の不況といわれるが、来年は明るい方向に向かうでしょう」と挨拶、一年ぶりの再会を喜び合う声で、会場は終始明るい雰囲気包まれていた。

懇親会は今回より牛塚松男氏（高22回）が司会を担当し、奥野忠正副会長の挨拶、四方正治県議の発声による乾杯で開宴となり、ゴルフ大会の表彰が賑々しく行われる中、参加者はそれぞれの宴卓で思い出話を花を咲かせていた。



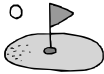
乾杯は四方県議 次期高校再編計画についても言及



来年は明るい年を期待したいと八嶋会長

新高OBゴルフ大会は今年も11時30分から高岡カントリークラブで行われ、参加者の日焼けした顔からは、白熱したプレイの様子がうかがわれた。結果は以下のとおり

- 優勝 京橋 邦夫氏（高4回）
2位 中川 文夫氏（高19回）
3位 糺谷 孝氏（高14回）



平成21年度 同窓会役員一覧

役 職 名	氏 名
会 長	八 嶋 健 三
副 会 長	八 嶋 美 智 代
副 会 長	奥 野 忠 正
副 会 長	江 守 正
副 会 長	片 境 孝 吉
副 会 長	加 治 秀 夫
関 東 支 部 長	卯 尾 田 雄 一
近 畿 支 部 長	北 野 志 郎
会 計 監 査	中 野 清 志
会 計 監 査	菊 丸 子
常 任 幹 事（中 6）	田 谷 宣 正
常 任 幹 事（高 4）	橘 川 俊 正

役 職 名	氏 名
常 任 幹 事（高 6）	太 田 静 代
常 任 幹 事（高 8）	石 黒 勇 太 郎
常 任 幹 事（高 17）	網 谷 晋
常 任 幹 事（高 22）	中 村 昌 樹
常 任 幹 事（高 25）	竹 内 直 樹
常 任 幹 事（高 29）	今 泉 嘉 宏
常 任 幹 事（高 33）	八 嶋 功
常 任 幹 事（高 37）	六 渡 徹
常 任 幹 事（高 40）	竹 内 一 恭
常 任 幹 事（高 47）	高 木 浩 司
常 任 幹 事（高 52）	亀 島 栄 介

平成20年度収支決算書

会計年度 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

1. 収入の部					(単位：円 ▲減)
費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	
前年度繰越金	423,799	423,799	0		
会 費	1,785,700	1,782,400	▲ 3,300	年会費(在校生から3,200円)、入会金(卒業生から2,000円)	
雑 収 入	150,501	167,338	16,837	総会出席者からの会費および利息	
合 計	2,360,000	2,373,537	13,537		

2. 支出の部					(単位：円 ▲減)
費 目	予 算 額	決 算 額	残 額	摘 要	
総 会 費	500,000	533,765	▲ 33,765	定期総会	
支 部 関 係 費	100,000	64,100	35,900	関東支部定期総会等	
会 議 費	10,000	3,530	6,470	役員会等	
印 刷 費	150,000	143,640	6,360	あゆの風22号(1,800部)	
通 信 費	250,000	244,833	5,167	各種案内状、総会広告等、会誌送付等	
記 念 品 費	80,000	84,360	▲ 4,360	卒業記念品	
消 耗 品 費	10,000	0	10,000		
激 励 費	500,000	181,000	319,000	北信越、全国大会出場	
慶 弔 費	40,000	0	40,000		
事業積立金	500,000	500,000	0		
予 備 費	220,000	0	220,000		
合 計	2,360,000	1,755,228	604,772		

収入額 ー 支出額 = 次年度繰越金
2,373,537円 1,755,228円 618,309円

平成21年度収支予算書

会計年度 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

1. 収入の部					(単位：円 ▲減)
費 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要	
前年度繰越金	618,309	423,799	194,510		
会 費	1,798,000	1,785,700	12,300	同窓会費、同窓会入会金	
雑 収 入	153,691	150,501	3,190	総会費、利息	
合 計	2,570,000	2,360,000	210,000		

2. 支出の部					(単位：円 ▲減)
費 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要	
総 会 費	600,000	500,000	100,000	定期総会	
支 部 関 係 費	100,000	100,000	0	関東支部定期総会等	
会 議 費	10,000	10,000	0	役員会等	
印 刷 費	150,000	150,000	0	あゆの風23号	
通 信 費	250,000	250,000	0	各種案内状、総会広告等	
記 念 品 費	100,000	80,000	20,000	卒業記念品等	
消 耗 品 費	10,000	10,000	0		
激 励 費	500,000	500,000	0	北信越、全国大会出場等	
慶 弔 費	40,000	40,000	0	香典、弔電等	
事業積立金	700,000	500,000	200,000		
予 備 費	110,000	220,000	▲ 110,000		
合 計	2,570,000	2,360,000	210,000		